

運用担当者等の開示について

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

DWSの運用

DWSは個人投資家、機関投資家、企業向けに、アクティブ、パッシブ、オルタナティブ運用を網羅する包括的な資産運用ソリューションを提供しています。私たちの専門知識は主要な上場資産のみならず、非上場の資産クラスをカバーし、お客様のニーズに応じた成果の提供を可能にしています。DWSの多様なプラットフォームには、体系的なETFソリューションを提供するXトラッカーズや、実物資産を含むプライベート資産に特化したRREEFなどの専門ブランドも含まれます。

DWSの戦略的な投資アプローチは、エコノミスト、リサーチアナリスト、運用プロフェッショナルの知見を集約したグローバル[CIO View](#)に基づいて策定されています。これにより、お客さまの長期的な目標と変化する市場環境に沿った商品を提供することが可能となります。当社は透明性と説明責任を重視し、一貫した顧客中心のアプローチを通じて価値を提供することに尽力しています。

運用プロセス

DWSの運用プロセスは、一貫して優れたリターンを提供することを目指しています。これは、継続的な品質管理に支えられた、規律ある3段階のアプローチから構成されています。収益性の高い運用戦略を生み出すために、ボトムアップのアプローチを追求しています。一貫性があり、体系的で透明性の高い運用プロセスによって、有望なセクター、地域、テーマ、通貨、個別銘柄を見出すことができます。

DWSのエコノミストは、世界経済や主要経済地域について徹底的に分析を行います。マクロ経済リサーチでは、主なトレンドを特定し、経済成長、インフレ、貿易フローなど、さまざまな要素への影響を分析します。リサーチアナリストは主要な市場セグメント、発行体、証券に焦点を当てています。リスク調整後のリターンと評価を高めるために、基本的な運用環境に関する見方や、市場価格の根底にある水準や構造について、特にESG要因の観点から、短期および長期的視点での評価を提供します。

マクロ経済やファンダメンタルズに対する分析、バリュー評価は、共にCIO View（戦略的および戦術的見通し）を構成する主要なインプットになります。CIO Viewは、投資判断の方向性を示す世界観を描き、運用の方向性や社内外の投資姿勢を方向付けるものです。CIO Viewには2つの要素があります。戦略的な視点では、長期的な見通しや方向性が、戦術的な視点では、主要なグローバル債券市場についての短期的な評価を提供します。CIO Viewはポートフォリオ構築のための重要な情報であり、その選好に沿ってポートフォリオに投資することが期待されます。また、戦術的CIO Viewでは、グローバルCIO推奨を一般的なポートフォリオの状況に落とし込み、グローバルな総合ベンチマークの概念に基づいた、相対的価値を軸とするアセットアロケーションを提供します。

品質管理は運用プロセス全体を通じて機能しており、成果は独立したチームによって分析・検証され、厳しく評価されます。これは運用手法を継続的に高度化していくうえで重要な要素であり、3つの主要要素であるパフォーマンス、リスク、プロセスを包括的かつ横断的に分析するうえでの透明性を確保します。

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社の運用体制

	人員	平均在籍年数
運用部	6人	14.5年

(2025年12月末時点)